

はじめに

2023（令和5）年度のQOL研究機構 社会福祉学研究所 研究・活動報告書をお届けいたします。本研究所では毎年研究・活動助成を行い、その成果を研究・活動報告書としてまとめています。2023年5月、ゴールデンウィーク終了直後の8日に新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の「2類相当」から「5類」へと移行し、季節性インフルエンザ等と同様に扱われるようになりました。3年あまり続いたコロナ禍は、本研究所の研究や活動にも大きな制約をもたらしましたが、徐々にコロナ禍前に戻りつつあります。

本報告書では、『「のべおか子どもセンター」22年目の活動報告』、『子ども食堂の運営に関する現状と課題 ～宮崎県延岡市の実態調査～』、『延岡市におけるフードロス対策と生活困窮者支援の一体的推進に関する研究』、『大学資源を活用した運動・スポーツ教室の実施－働く世代・子育て世代の女性を対象として－』、『QOL研究機構 社会福祉学研究所 講演会の開催報告』の5編の研究・イベント・活動の報告が掲載されています。どれも地域社会に根差し、地域社会に暮らす方々を対象としたものとなっています。

さて、九州保健福祉大学は次年度より大学名称が変更され「九州医療科学大学」となりますが、QOL研究機構 社会福祉学研究所は引き続き地域社会に役立つ研究・活動を継続していく所存でございます。

本研究所の研究・活動および本報告書の内容が、より良い地域社会を構築するための一助となりますことを願っております。

令和6年3月

九州保健福祉大学
QOL研究機構 社会福祉学研究所
所 長 正 野 知 基

目 次

「のべおか子どもセンター」22年目の活動報告	1
松田 智香子、井藤 英俊、正野 知基、天野 善昭、二見 豊	
子ども食堂の運営に関する現状と課題 ～宮崎県延岡市の実態調査～	19
松原 由美、兒玉 美鈴	
延岡市におけるフードロス対策と生活困窮者支援の一体的推進に関する研究	25
日田 剛、志賀 信夫、三浦 久知、橋本 典幸	
大学資源を活用した運動・スポーツ教室の実施 －働く世代・子育て世代の女性を対象として－	41
井藤 英俊、高野 聡	
QOL研究機構 社会福祉学研究所 講演会の開催報告	49
佐々木 さはら、神田 潤一	